

荒川源流探検

二瀬ダム・滝沢ダム見学会



二瀬ダム



秩父湖

荒川は、その水源を秩父山地の山梨県(甲斐)、埼玉県(武蔵)、長野県(信濃)境にある甲武信ヶ岳(標高 2,475m)に発し、奥秩父特有の深いV字渓谷を流下して秩父盆地を北流し、長瀬を経て寄居附近から関東平野をほぼ南に流れて東京湾に注ぐ、流路延長 173km、流域面積 2,940 km²の我が国の代表的な急流河川のひとつで、その名のおい荒れる川として昔から数多くの水害の歴史をとどめています。特に明治 43 年の水害は激しく、「埼玉県史」によれば、この洪水で荒川の堤防は右岸で 16ヶ所、左岸で 19ヶ所も決壊し大きな被害を出したと伝えられています。このためこれを契機に、翌年から直轄で荒川改修工事が始められ、引き続いて大正 12 年には荒川放水路が掘られ、また熊谷から下流の河道整備等の改修が順次行われ、昭和 29 年をもってこれら一連の工事は完了を見ました。しかし、この改修工事の最中、昭和 22 年カスリーン台風の時に計画高水流量を上回る出水がありました。そこで昭和 25 年に「荒川総合開発計画」が立てられ、埼玉県及び東京都の水害に備えることとなりました。この荒川総合計画の中心事業が二瀬ダムの建設です。

今回は、由緒ある三峯神社に一泊し、荒川の上下流交流を目的に、最上流にある二瀬ダム及び滝沢ダムを見学します。

下記のとおり実施しますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	8月25日(土)26日(日)1泊	7:30集合
集合場所	JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)	
参加費	2,000円(資料、交通費、保険料の一部として)その他、三峰神社の宿坊興雲閣に11,700円のところ、上下流交流ということで8,000円で泊られます。	
募集人数	45名(先着順)	boumatijyuku@yahoo.co.jp 携帯 080-4006-8819 FAX 043-274-8151
行程	25日 7:30 出発(集合次第出発します) 二瀬ダム到着・見学、上流の方々との交流もあります。	
	26日 滝沢ダム見学後帰路へ、道の駅へ寄ります。	

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東建設弘済会
後援 荒川源流ダム水源地域ビジョン・NPO森

二瀬ダム

二瀬ダムは、その高さ 95m、天端幅 288.5m、コンクリート打設量 356,000m³の重力式アーチダムで、総貯水容量 26,900,000m³、有効貯水容量 21,800,000m³の貯水池によって計画高水流量毎秒 1,500m³の46%に相当する毎秒 700m³の洪水をカットすることにより下流の水害防止に役立てるほか、貯水池からの放流によって下流熊谷市附近の大里、元荒川、櫛引、本島地区を併せた 8,603haのかんがい用水の確保を図り、さらにダム直下に設けられた最大出力 5,200kw/hの発電所（東京発電(株)管理)によって、年間最大 17,487Mwhの発電を行うことができます。



滝沢ダム



滝沢ダムでは、ダム地点の計画高水流量（およそ100年に1度起こりうる洪水の規模）：1,850m³/秒のうち、1,550m³/秒をダムで貯め（洪水調節）、ダム下流への放流量を300m³/秒に減らすことにより下流域の洪水被害の軽減を図ります。なお、洪水調節は、2門の常用洪水吐きゲートを用いて行われます。河川の流量が豊富な時にダムに貯留し、逆に不足している時にダムから補給することにより荒川沿川の既得取水（古くから取水されている農業用水等の取水）が安定してできるように、また河川環境の保全等のために必要となる流量が確保できるようにします。埼玉県の水道用水として最大3,74m³/秒、東京都の水道用水として最大0,86m³/秒、合計4,6m³/秒の取水が可能となるようにします。これは一人一日当たりの平均水使用量を305リットルとすると、約130万人分の使用量に相当します。水力発電が、東京発電(株)により行われます。ダムからの放流水（最大4,25m³/秒）を利用して最大出力3,400kWの発電を行います。

として最大0,86m³/秒、合計4,6m³/秒の取水が可能となるようにします。これは一人一日当たりの平均水使用量を305リットルとすると、約130万人分の使用量に相当します。水力発電が、東京発電(株)により行われます。ダムからの放流水（最大4,25m³/秒）を利用して最大出力3,400kWの発電を行います。

三峯神社

由緒は古く、景行天皇が、国を平和になさろうと、皇子日本武尊を東国に遣わされた折、尊は甲斐国(山梨)から上野国(群馬)を経て、碓氷峠に向われる途中当山に登られました。

尊は当地の山川が清く美しい様子をご覧になり、その昔伊弉諾尊(いざなぎのみこと)・伊弉册尊(いざなみのみこと)が我が国をお生みになられたことおしのびになって、当山にお宮を造営し二神をお祀りになり、この国が永遠に平和であることを祈られました。これが三峯神社の創まりです。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

